

第 1 回 篠原中学校 学校運営協議会

式次第

開催要件確認

1. 会長あいさつ
2. 校長あいさつ
3. 新運営協議会委員任命（校長）
4. 自己紹介
5. 浜松市学校運営協議会規則確認
6. 授業参観
7. 議長選出
8. 前回会議録、令和 6 年度自己評価の確認
9. 熟議
 - (1) 令和 7 年度学校経営方針（校長）
 - (2) いじめ防止等のための基本的な方針について（桔川）
 - (3) 夢育やらまいか事業意見書（教頭）
10. 連絡
 - ・ 次回開催日 11/10（月）

MEMO

日時：令和 7 年 5 月 2 日（金）

場所：篠原中学校 多目的室

令和7年度 篠原中学校運営協議会

委員

No.	氏 名	ふりがな	備 考
1	鈴木 幹夫	すずき みきお	保護司
2	太田 一夫	おおた かずお	R2 篠原地区自治会連合会会長
3	河合 洋子	かわい ようこ	学校支援コーディネーター R2 篠原中学校PTA会長
4	鈴木 幸子	すずき ゆきこ	R7 篠原地区健全育成会会長
5	津田 順子	つだ じゅんこ	主任児童委員
6	鈴木 好治	すずき よしじ	R3・4 連合自治会長
7	鈴木 登志雄	すずき としお	R5 地区自治会長
8	鈴木 貴子	すずき たかこ	R7 篠原中学校PTA執行役員
9	横井 詠子	よこい えいこ	R6 篠原中学校PTA執行役員

学校

1	内山 安史	うちやま やすひと	篠原中学校長
2	太田 陽三	おおた ようぞう	篠原中学校 教頭
3	鈴木 一輝	すずき かずき	CS担当教員
4	桔川 祐輝	きっかわ ゆうき	R5・6 CS担当教員
5	村松 佳寿子	むらまつ かずこ	CSディレクター

令和6年度 第3回 篠原中学校学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和7年1月27日(月) 13時30分から15時30分まで
- 2 開催場所 篠原中学校 多目的室
- 3 出席委員 太田 一夫、刑部 由佳子、神村 文枝、河合 洋子、鈴木 幹夫、
鈴木 幸子、那須田 奈保子、村松 友美、津田 順子
- 4 欠席委員 なし
- 5 オブザーバー 辻岡 正和（篠原協働センター長）
- 6 学 校 内山 安史（校長）、太田 陽三（教頭）、桔川 祐輝（CS担当教員）、
鈴木 一輝（教員）、村松 佳寿子（CSディレクター）
- 7 教育委員会 牧野 知子（教育総務課）
- 8 傍聴者 なし
- 9 会議録作成者 CSディレクター 村松 佳寿子

10 議長の選出

司会から、議長の選出について委員に意見を求めたところ、神村委員が本日の議長を務める事を申し出、全員異議なくこれを承認した。

11 協議事項

- （1）学校関係者評価
 - ① 篠原中学校運営基本方針、学校運営に関する評価
 - ② 学校いじめ防止基本方針に基づく評価
- （2）学校運営協議会自己評価

12 会議記録

司会の桔川から、委員総数9人全員の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

（1）学校関係者評価

議長の指示により、校長から、別紙資料に基づき今年度の学校運営の報告と令和7年度篠原中学校グラウンドデザインについての説明、CS担当教員の桔川から、学校いじめ防止基本方針に基づいた取組について報告があった。その後、3グループに分かれて協議、委員からは以下の発言があった。

【Aグループ：太田会長、神村委員、鈴木幸子委員】

- ・篠原地区は一小一中で、良い雰囲気だが外からの刺激が少ない点が心配。どうやって刺激を与えていくか考えていく必要がある。
- ・地域の力をいかに借りるかが課題。授業でこんな事をやりたいなど学校から地域に向けて積極的に

発信してもらえると良い。

【B グループ：鈴木幹夫委員、刑部委員、那須田委員】

- ・ いじめの取組で、保護者からのシグナルをいつでも学校に伝えられる手立てがあると良い。また、担任よりも部活動の顧問の方が相談しやすい生徒もいる。部活動地域移行によってそれがなくなると、学校とのつながりが希薄になる可能性があり、心配。
- ・ MVG やキャリア教育内容など、保護者の認知度が生徒より低い傾向にあり、学校活動の意義の周知がもっと必要だと思った。篠原小学校で発行されているコミュニティ・スクール通信を中学校も発行するなど、情報発信を増やしたらどうか。

【C グループ：河合委員、津田委員、村松委員】

- ・ 学校のいじめ対応はすごく手厚くなっていると感じる。学校運営協議会に参加していない保護者にも取組内容を伝えられると良いと思う。ふざけてやったことに対し、自分で「嫌だからやめて。」と言える人間関係ができると良い。
- ・ 学校からのコミュニティ・スクール通信は、さくら連絡網で配布した旨を保護者に連絡し、同時にそれを添付しておくで保護者も見てくれると思う。

(2) 学校運営協議会自己評価

議長の手示により、別紙の熟議チェックシートへの記入、その内容について3グループに分かれて協議。委員からは以下の発言があった。

【A グループ】

- ・ 対外的発信してどのくらい理解されるか難しいが、先生方からも折に触れて発信してくれると良い。
- ・ 地域の方々がもっと学校行事に来やすくなるように、回覧などでも発信が可能ならばやって欲しい。

【B グループ】

- ・ 学校運営について、意見を述べることは出来たが、実行すべきことの役割分担が明確になっていたかという点は疑問が残る。来年度は学校支援活動の具体的中身について地域や委員がもっと協議会の中で伝えられるようにしたい。

【C グループ】

- ・ 来年度は学校評価についてもっと話し合えたら良いと思う。前回、部活動の地域移行について話し合ったが、その後具体的に動けたかと言うとやや疑問が残る。

その他報告事項等

- ・ 教頭から、夢育やらまいか事業について、防災学習（1年生）と高校入試面接練習（3年生）に支出した旨の報告があった。防災学習では起震車や水の浄化、防災食といった体験ができ、面接練習は委員や地域の皆様のご協力のおかげで、緊張感のある実践的な練習を実施できたことについての報告とお礼があった。
- ・ 校長から、学校運営協議会が今年度3年目を迎えたお礼、教頭から、退任される委員の紹介、退任される4名の委員の方々から、ご挨拶をいただいた。
- ・ 司会から、次回会議は、令和7年5月2日（金）13時30分から篠原中学校多目的室で開催する予定である旨の報告があった。

第1回 学校運営協議会 授業参観・熟議シート

① 授業参観 メモ

MEMO

視点 誰にとっても居心地の良い学校づくりをするために、
学校として、保護者として、地域としてできること

② 熟議1 令和7年度 学校経営方針・いじめ防止等基本方針について

③ 熟議2 夢育やらまいか事業について



C O N N E C T
C H A L L E N G E
C R E A T E

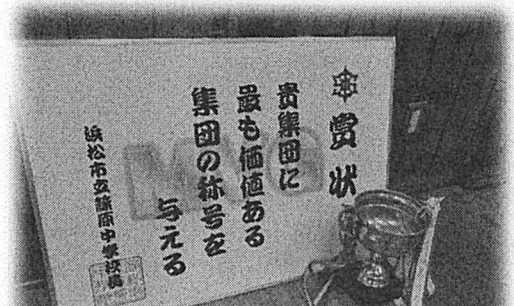
令和7年度 篠原中学校運営協議会 年間計画

月 日		学校運営協議会 計画	主な学校行事
5	2	第1回学校運営協議会	
	12~14		2年 野外活動
	29		校内体育大会
	30		校内体育大会 予備日
6	11		命の集い
	14		夏季大会壮行会
9	16~18		3年 修学旅行
10	22		怒濤祭1日目(中学校開催)
	23		怒濤祭2日目(アクト中ホール)
11	10	第2回学校運営協議会	
	13,14		2年職場体験、1年防災体験
12	1		Ceremony of MVG
1	23		3年生面接練習
	26	第3回学校運営協議会	
2	3、4		私立入試
	20		3年生面接練習
3	4、5		公立入試
	6		3年生を送る会 解団式
	18		卒業式

体育大会



怒濤祭2日目(合唱コンクール)



Ceremony of MVG のトロフィー

1年 防災学習





★校区の目指す子ども像★

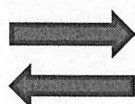
自信と活力にあふれ、進んで学びを求めていく子ども
家庭や地域に愛着を持ち、かかわりを大切にできる子ども

☆学校教育目標☆

共に理想を追求し、自己実現をめざす生徒

共生

(Connect)



自立

(Challenge)

- 自分らしさを大切にすることも
- 他者と協調し、主体的に行動できることも
- 自己調整しながら粘り強く取り組むことも

生きる力(Create)
キャリア教育の4つの力

集団活動の充実(伝統の縦割り活動)

MVG(最も価値のある集団)活動
縦割りを土台とした 体育大会 怒濤祭
学年経営の充実

学 び

- ・基礎基本の定着
- ・令和の日本型学校教育の実現
- ・ICTの有効活用
- ・プログラミング的思考の育成
- ・キャリア教育の視点での授業改善
- ・校内適応指導教室の充実

心

- ・道徳教育の充実
- ・「いのち」を大切にする教育の推進
- ・「あいさつ」の意識向上
- ・学校いじめ防止基本方針に基づく組織的な対応
- ・美しい環境づくり
- ・情報モラル教育の充実

協 働

- ・生徒会や縦割りによる自治活動の充実
- ・リーダー・フォロワー教育の充実
- ・SCやSSW等の関係機関との連携
- ・夢中になる部活動と地域移行への架け橋
- ・しのび学習の充実

人を大切に
する力

チャレン
ジする力

自分を
大切にす
る力

考える力

生徒に寄り添う生徒指導
発達支援教育の理念を根幹とした教育

生徒・保護者・地域と学校の相互理解
～ 誰にとっても居心地のよい学校 ～
学校運営協議会との連携 部活動の地域移行

(様式1)

令和7年5月7日

浜松市立篠原中学校
夢をはぐくむ学校づくり推進協議会
代表 鈴木 靖予 様

浜松市立篠原中学校運営協議会
会長 鈴木 幹夫

夢育やらまいか事業に対する意見書

令和7年5月2日に開催した学校運営協議会において、下記の意見を議決しましたので報告します。

記

1 学校運営の基本方針を具現化するための意見

- ① 篠原地区は海に近い地域であり、東日本大震災をはじめ日本各地で頻発する地震及び災害を受け、防災に対する意識をさらに高めていく必要がある。篠原中では1年時に総合的な学習の時間を使って、篠原地区の防災について学習を進めている。
⇒ 1年生の総合的な学習の時間で、地域の方に協力を得て防災体験学習を実施することで、生徒の防災意識を高め、学校や家庭生活における防災の実践力を高める。
- ② 3年生が入試前に行う面接練習において、地域の有識者に面接官として協力してもらう。地域との連携を深め、キャリア教育推進の一助とする。
⇒ 地域の方に協力していただき、幅広い視野で生徒の面接練習を行う。生徒が地域に見守られ、育っていることを実感させることで地域に意欲的に関わる態度を育てる。
- ③ 発達支援学級において、地域の方に協力を得て体験的な活動の充実を図る。
⇒ 栽培活動や作業学習において、地域の方に指導や助言をいただきながら、地域の特色を知り、主体的に学びに向かう態度を育てる。